

みんなの町議会



地域医療を
守る使命感

常任委員会報告	3
12月補正予算質疑	4
一般質問	6

新たに

新年のご挨拶



神石高原町議会
議長 橋本 輝久

新年明けましておめでとうございませう。

町民の皆様におかれましては、健やかに令和4年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は、町議会に対しご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。私たち議員は、町民皆様の代表として自覚をもち、責任が持てる議員として、また議会の資質向上を掲げ、厳しい姿勢で取り組んでまいります。今後とも議会に対しまして、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

令和4年が、新型コロナウイルスの早期の収束と災害のない年となるとともに、町民皆様のご健勝と、ご繁栄をご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

12月定例会

12月定例会は、12月3日から15日までの会期で開かれ、令和3年度一般会計と特別会計の補正予算を含め、21議案を慎重審議し、すべて原案通り可決しました。

一般質問では9人が町長・教育長に行政課題などについてたどしました。

今定例会から議員にタブレットが導入され書類の整理や管理がし易くなりました。

新議場で、新たな決意で、まちづくりに取り組み、町民皆様の期待に応えられるよう頑張ります。



発言は名前を名乗ってから

議事録は、音声データから文字にする作業を専門の業者に依頼しています。

音声だけで発言者が誰か判るように、所属と名前の明確化を徹底しました。

モニターを確認して発言

更新したデジタル録画機器は、先頭部分が数秒遅れで録画されるので場内に設置された画面に自分が映った後発言を始めています。

新議場で決意

常任委員会報告

産業建設常任委員会

木質バイオマス発電事業（新見市）

民間企業が合同会社を設立し、1995kW（4300戸分）のバイオマス発電所を開設。

間伐材・林地残材の有効利用で木材チップ年間30000トン（約90t/日）を使用。年間売り上げ5億5千万円、受け入れ原木価格は5000円/t（スギ以外）です。

カーボンニュートラルを目指す取り組みでもあり、木材チップは併設するバイオマスサプライで製造され、神郷温泉にも供給されています。



バイオマス発電所を視察（新見市）

総務文教常任委員会



タブレットを使用した授業風景

来見小学校でのタブレットや電子黒板の使用状況を視察・調査しました。

各学年、各教科によってタブレットや電子黒板を使った授業を参観した後、教育委員と校長や先生方と意見交換を行いました。

担任の先生によるタブレットを使用し工夫された授業に児童も生き生きと学んでいました。

課題として、視力の低下や姿勢の悪化など、健康面の定期的な観察も必要と思われます。

コロナ対策関連予算を追加

一般会計

補正予算 **3億6606万円** 補正後予算 **135億4071万円**
(四捨五入)

主な補正事業

- **かがやきネットデータ放送リニューアル** 【補正額】 **3355万円**
データ放送システム更新
 - **共同調理場管理運営経費** 【補正額】 **9210万円**
三和給食共同調理場大規模改修
 - **子育て世帯への臨時特別給付事業** 【補正額】 **4903万円**
- 子ども食堂委託経費 50万円** **3回目 コロナワクチン接種 2618万円**

未来創造課長 町内のデジタル化推進に活用するものが寄附者の意向である。

木野山議員 企業版ふるさと納税が財源となっているが、寄附者の意向か。

情報通信基盤整備事業

未来創造課



大規模改修する三和給食共同調理場

小川善議員 不特定多数の人がスマホでかがやきネットが視聴できるが、

未来創造課長 使用目的によって各基金を積み立てている。令和2年度末の基金残高は4億4600万円である。

未来創造課長 かがやきネットは基金積立で運営されているが、収入の分類は。

木野山議員 かがやきネットは基金積立で運営されているが、収入の分類は。

未来創造課長 DX推進の手段としたい。また、町外の関係者へいち早く情報を届けたい。個人情報拡散にならないようシステム構築の中で考えたい。

消費者トラブルなど防犯の観点からも検討が必要では。



調理室



洗浄室

子育て応援課

子ども食堂

久保田議員 子ども食堂を自然食レストラン高原の風で実施するが、遠距離の利用者に、不利益の無いよう配慮してほしい。

子育て応援課長 子ども食堂はフードバンクに登録した40世帯約120人に案内する。場所、時間、方法については利用者アンケートを実施し検討する。

柏床議員 油木百彩館の活用も考えられるのでは。

対象家族については交通手段を持たれているのか。

子育て応援課長 場所については、本年度事業検証し、色々な形で広く検討したい。

対象家族については、交通手段はあると思っっている。事前調査はあまりできていない。

柏床議員 食事券の配布か。

子育て応援課長 チケット配布を考えている。利用者の意見を聞き有効なニーズの把握に務める。

木野山議員 個人情報の観点から食券で自由に食べに行ける体制が必要では。

子育て応援課長 個人情報で行きたいけど行きにくいという事が無いように、営業時間内に食べに行つて頂く事を考えている。

皆さんに子ども食堂というものに関心を持っていただきたい。

林議員 事業委託した理由は。

子育て応援課長 今回委託する自然食レストラン高原の風が、過去にコロナ禍で、子ども食堂の実績

があるので、今回お願いした。

保健福祉課

予防接種事業

久保田議員 3回目の新型コロナウイルスワクチン接種の、接種時期と、接種順序は。

保健福祉課長 12月医療従事者、一般の人は1月中旬から、接種は場所と日時を指定した接種券を送付する。

政策企画課

緊急事態宣言に於ける休業要請支援事業

木野山議員 休業要請を行った事業者は、何故この2社なのか。

政策企画課長 宿泊事業者に対する緊急事態宣言に伴う休業要請をした事業者である。今回は神石高原ティアガルテンと帝積峡スコーラ高原の2社とした。

星居山森林公園整備事業

林議員 星居山森林公園光ケーブル敷設業務の財源は。

政策企画課長 県の観光需要を創出するための投資的な事業で、4分の3を県、町が4分の1を負担し、整備する。

総務課

災害復旧費

柏床議員 災害復旧費に、時間外勤務手当が540万円計上の算定は。

総務課長 本年の7・8月豪雨災害が100件程度発生している。国の災害査定の準備など事務作業の増加分である。



Wi-Fi環境を整備する星居山森林公園

一般質問

質疑の一部を要約してお伝えします



問 令和3年分の
住民税申告相談は
柏床 由夫 議員

答 山林所得など6項目は
税務署へ

会場とし、相談時間と待ち時間の短縮を図ることとした。

問 この実施要項になつた経過は。

答 住民課長 近年は申告内容が複雑多岐なものが増え、軽微な確認作業で所得など確定できる申告に絞らせてもらった。職員8人体制で1日100世帯程度を受け付ける予定。油木支所5日間、神石支所4日間、豊松支所3日間、本庁6日間を予定している。

問 令和3年分の住民税申告相談の実施要項と実施体制は。

答 町長 コロナ禍に於いての来場回数の抑制と相談時間短縮などを目的とし、受付内容を変更した。

実施要項は、山林所得など6項目と、消費税、贈与税の申告は、府中税務署などで、お願いする。申告相談は町内1日1

- ⑤山林所得
- ⑥住宅借入金等特別控除(1年目)

広島県水道広域連携について

問 令和3年4月以降の設立準備会の経過説明を。

答 町長 (4月)第1回企業団設立準備協議会、(10月)第1回準備協議会幹事会、(11月)第2回準備協議会。

問 第2回準備協議会の内容は。

答 環境衛生課長 組織運営の骨子の協議が行われた。企業団運営開始は令和5年4月。職員は市町からの派遣。本部は広島市に、事務所は各市町の庁舎内に置く。

問 申告日程までの事前相談は可能か。

答 住民課長 1月中旬から1月末までを予定している。

- ①青色申告
- ②土地建物等の譲渡所得
- ③株式配当及び譲渡所得
- ④先物取引による所得

問 設立に向け町の関わりは
小川 善久 議員

答 事業開始後も補助事業として、関わる



問 参加事業者数と内容は。

答 政策企画課長 農業17件、商工関係5件、建設関係1件の23事業者の参加があった。

問 通年雇用するため、労働力の過不足の時期を知る必要があるのでは。

答 政策企画課長 今後の説明会で、組合員となる事業者へ聞き取りや話し合いを行い、いつ、何人必要かを明確にする。

問 多種多様な事業者が参加する必要があるが、今後の募集案内は。

答 政策企画課長 商工会、農業関係、介護福祉関係など所管課を通じて案内をしている。

ている例もあるが、できれば、専任の事務局員を配置したい。

庁舎・病院の跡地利用

問 公共事業施設利用等検討委員会から提言書が提出された。これを受けた今後の予定は。

答 町長 旧病院は、全棟を解体。小島バイパス沿線の活性化から跡地の利活用を検討する。旧庁舎は、書庫とする。

問 耐震性のない旧庁舎南棟の解体はいつごろの予定か。

答 総務課長 令和4年に解体の設計、5年に解体工事をする。

問 共同福祉施設にも書庫があるが、どうするか。

答 総務課長 すべて旧庁舎に移す予定だ。当面はコロナ対策として保健福祉課の分散勤務に使用する。

問 特定地域づくり事業協同組合の進捗状況と今後の予定は。

答 町長 第1回事業説明会を開催し、30人の参加があった。早期設立に向け、事業計画の作成や組合の設立認可手続きを行う予定。組合設立には少なくとも4事業者が必要で、関係者と協議を重ねながら準備を進める。

問 運営の一番の課題は、雇用者を募集したり、配置を考えたりする事務局の体制が重要では。

答 政策企画課長 行政が、事務局を担当し



問 インボイス制度の廃止を

林 憲志 議員

答 制度の周知に努める

問 インボイス制度が導入されると、免税事業者の取引が縮小や廃業に拍車がかかる恐れがある。町が発注する工事や物品購入への影響は。

答 町長 今回のインボイス制度導入により一般会計、特別会計ごとに、適格請求書発行事業者登録を受ける必要がある。

町が発注する工事や物品購入については、事業者の規模に応じ、課税事

業者になり、インボイスの提出を求めることとなる。

問 他市町の例を見ると、町が発注する工事や物品購入などにおいても排除される事業者が出るのではないかとこの質問に、入札参加資格等の要件に課税事業者、免税事業者を区別する条件をつけたら、インボイスが発行できないという理由で排除することは考えていない、という答弁だが、本町も同じ対応か。

答 総務課長 インボイス制度の導入が始まってからの入札にかかる物品や工事の案件において、現在、町としては、特に課税事業者、非課税事業者であるということと制限をする予定は考えていない。

問 災害時の民間企業と本町の包括連携協定

災害時の民間連携

災害時の民間企業と本町の包括連携協定

は住民も関心を持っていて。具体的な取り組みがされていない。

災害は待ったなしだ。連携により自然災害の際や事前事後、どのような取り組みがされるか。

答 保健福祉課長 高齢者の見守り支援など、生協との連携は、具体的にどの段階で協力要請をするという事はまだ、詰め切れていない。まだまだ十分な協議が出来ていないので、しっかりと生協のノウハウを聞きながら、本町においてどのような形で進めるか、協議をしたい。



インボイス制度の説明会

問 未病への取り組み状況は

横山 素子 議員

答 令和4年度から実証実験を進める

問 デジタル技術を活用した未病への取り組みは、令和3年度の最重要施策の一つでもあり、住民の関心も高いが、進捗状況は。

答 町長 デジタル技術などの新技術や新サービスの事業化の実現のために、専門的な知識や経験を有する企業や医療機関などとの協議に時間を要した。来年度から実証実験を段階的に進めていく。

令和4年度からウェアラブル端末を提供する事業者を決定し、高齢者を対象にモニターを募集して、心拍数などのデータを収集していく。また、医療機関と連携しオンライン診療の実施へむけて体制づくりを行う。

問 油木地区にオープンしたにしかわ化石館の説明ができる人材が必要だ。これまで関わってきた地域おこし協力隊は、令和4年3月で任期満了となる。

にしかわ化石館の運営

答 未来創造課長 油木協働支援センターにおいて、この先も化石の説明ができるよう地域おこし協力隊と協議をして頂いている。

この化石館の存続や維持管理について、町として、どのような位置づけで捉えているのか。

答 町長 にしかわ化石館は、油木地区の財産だと思うが、町が運営する施設にすることは考えていない。

ワクチン接種は

問 3回目のワクチン接種の具体的な日程は。また、接種に行くタクシー無料券の配布はできないか。

答 町長 前回はコールセンターへ予約が繋がりにくかった事が反省点だ。3回目はあらかじめ接種日時と医療機関を指定し、変更の希望がある場合は、連絡をして頂く。接種は1月下旬からを予定している。タクシー無料券の配布は考えていない。



問 有害鳥獣処理施設の現状は

久保田 龍泉 議員

答 民間企業と協議中である

設として建設場所の問題などの課題がある。民間企業や猟友会と連携して処理対策の協議を進めている。鳥獣害対策に関わる地域おこし協力隊の募集を検討している。

問 狩猟免許講習会を、本町で実施できないか。

答 町長 県担当部局や県猟友会事務局と協議し、要望する。

スーパーシティ構想

問 国家戦略特区を申請されたが、現状は。

答 町長 内閣府より、再度一層大胆な規制改革を伴う提案を受け付けると連絡があったが、再提案は行っていない。

問 ウェアラブル端末を活用しての健康データ、見守りなどの取り組みは。

答 保健福祉課長 令和4年度には、健康データを管理するウェアラブル端末を希望する高齢者に配布する。

令和4年度の各支所体制は

問 各支所の機能、権限、職員体制は。

答 町長 現在、大きな変更は考えてない。

問 町道側溝の土あげなど軽微な維持工事は支所で対応できないか。

答 町長 迅速な対応が必要なので、協働支援センターの協力も含め検討する。

問 豊松支所は各種団体の事務所が集約されたが、神石、油木支所への各種団体事務所の集約は。

答 町長 神石・油木支所に於いては、検討課題だ。



問 町内周回道路の早期完成を

小川 清治 議員

答 早期完成に向け取り組む

い、早期完成を目指す。

問 県道吉舎油木線、長者原トンネル付近の改良が望まれるが、進捗状況は。

答 建設課長 県の事業で、現在測量中である。令和4年度用地買収をする計画である。

問 いつ頃の完成予定か。

答 建設課長 トンネル付近の工事費は、5億円を越えるもので時間がかかると思われる。

問 早期の完成を望むが。

答 町長 国、県をはじめ、現在も継続し、整備中である。県道・町道・農道を利用し計画したもので、県道は吉舎油木線、草木高光線を現在も改良中、町道は油木豊松線に着手している。

連携協定

問 現在までの連携協定と内容は。

答 町長 現在23件の連携協定を結んでいる。内容は、災害発生時の支援、高齢者の見守り、医療・生活支援、地域経済の活性化、農林業支援、人材育成、資源の活用など。複数の協定内容がある場合包括協定を取っている。

問 課題と対応は。

答 町長 事業実施にあたっての関係団体との調整、予算の確保、サービスの公平性などの課題を整理しつつ実行可能な連携事業について実施する。



早期改修が望まれる長者原トンネル



問 改良復旧事業への取り組みは

木野山 孝志 議員

答 関連事業の活用も検討する

合は、補助率が下がる場合があるが、関連事業の活用も行う。

スーパーシティ構想

問 国家戦略特区の再提案をしないという事は、この事業を断念したのか。

答 町長 断念ではない。現在提案内容は審議されているが、当初のスケジュールより大幅に遅れている。町としてはこの構想に捉われる事なく、デジタル関連事業に取り組む。

問 災害復旧事業及び改良復旧事業への取り組みの基本的な考え方は。

答 町長 持修繕は引き続き取り組む。近年は異常な降雨により修繕箇所が増加している。再被災しないよう修繕に努める。

災害復旧事業は3年以内の復旧が原則だが、大規模災害でなければ早期の復旧に努める。
災害箇所のみで復旧では復旧効果が図れない場合

バーチャルスクール構想

問 スーパーシティ構想の中に、バーチャルスクール構想がある。現在文科省推奨のGIGAスクール構想は学習環境も整い推進中だが、電子黒板やタブレットを使用した授業の在り方が、「バーチャル」に発展するときに日本の教育がどのように変わるのか。

答 教育長 教科指導におけるICT活用とは、教科の学習目標を達成するため教師と児童生徒がICTを活用することだ。より高い教育効果に結び付けるには、従来からの授業技術との融合が重要だ。バーチャルスクールとは対面授業に変わってインターネットでの遠隔教育の事だ。判断力が不可欠となり自分一人で学習をやり抜く力が必要となる。義務教育において当面現状から大きく変化することは無いと考える。

問 提案された事業も含め、優先して取り組む事業は。

答 町長 すでに取り組んでいる事業も含め、行政と個人をつなげる技術や健康管理につながる技術など、県の事業も含め、進められるものは随時取り組みたい。

町長 すでに取り組んでいる事業も含め、行政と個人をつなげる技術や健康管理につながる技術など、県の事業も含め、進められるものは随時取り組みたい。

問 米価下落への支援は

藤田 晃己 議員

答 単独の支援は難しい



とは、人的確保、経費的負担を含めて困難である。

問 トマト研修生の募集を中止された理由は。

答 町長 ハウス資材の高騰に伴い営農計画、経営計画の策定が困難であることから募集を見送っている。

問 トマト栽培模擬研修施設の入植者を募集されているがターゲットは。

答 町長 前年度研修生の募集を中止したことに伴い施設設備の適切な維持管理と有効活用を図るため、町内外から希望者を募集している。

問 米価下落により耕作意欲の減退や、耕作放棄地の増加が予想されるが、農家への支援策は考えられないか。

答 町長 単独事業として一つの農作物の価格動向に対し支援することは考えていない。

問 農業公社を町内全域に拡大する考えはないか。

答 町長 農業公社を町内全域に拡大することは考えていない。

町長 農業公社を町内全域に拡大することは考えていない。

問 予冷庫の設置なども有効ではないか。

答 産業課長 維持コストや、修理費など課題が多い。

中国バス路線

問 中国バス路線廃止による住民への影響と対策は。

答 町長 西廻り線東廻り線で数件の要望があったが、現状の乗客数では補助金により赤字を全額補填する方法はなかなか、いずれの対応も非常に困難であると考えている。福山方面行き高校生の通学路線を最重要課題と捉え、福山市内路線との接続により路線を確保することが出来た。

問 牧地区、黒木谷地区など、トマト選果場までの距離が遠い農家に対する支援策は考えられないか。

答 産業課長 負担が多いため、新規就農者に限定した支援は困難である。

町長 農業公社を町内全域に拡大することは考えていない。



問 コロナ克服・地方創生の基本構想は

寄定 秀幸 議員

答 新技術・データ活用で正のスパイラルへ

の活用により、負のスパイラルから正のスパイラルに変えていく提案を行っている。していきたい。

3回目ワクチン接種

問 3回目のワクチン接種への取り組みは。

答 町長 医療従事者に送付し、接種は12月からを予定。高齢者の方を対象に、12月下旬に接種券を送付し、接種は1月下旬からを予定。

3回目のワクチン接種は、接種会場をあらかじめ指定し、予約手続きが不要になることで負担軽減となる。

経済・生活支援策

問 町内事業者への経済対策と生活困窮者支援は。

答 町長 システム導入やデジタル化など、新技術導入助成への支援を基本に考えている。生活困窮者支援として、住民税非課税世帯などに対する「臨時特別給付金1世帯当たり10万円の現金を申請手続不要な「プッシュ型」で速やかに給付したい。

地方創生総合戦略推進

問 第2期総合戦略には、コロナ禍は想定されていないが、アフターコロナを見据えた総合戦略の強力な推進が必要では。

答 町長 「転職なき移住」の実現である。

現在、本町でもバーチャルリアリティなどの新技術に関わっている企業もある。町有財産も上手く活用しながら、先進技術の推進施策をしっかりとPRし企業誘致や移住・定住を促進したい。

問 新型コロナウイルス感染症対策と経済再生・困窮者支援など、国の対策と併せ、町独自のきめ細かな取り組みが重要である。

答 町長 国が進めるデジタル田園都市国家構想は、デジタルの実装を進め変革の波を起こし、地方活性化を推進することとしている。本町においても、新技術やデータ

中高生からの政策提案 次世代議会

令和3年12月24日に開催





こんなことが決まったよ

— 主なもの —

条例の制定

全会一致

豊松支所改修に伴う条例の制定

計画の策定

全会一致

神石高原町過疎地域持続的発展計画の策定
「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」
計画期間は、令和3年4月1日から令和8年3月31日

工事請負契約の変更

全会一致

工事名 神石高原町立病院建設工事
請負金額 23億1330万円
請負者 戸田建設株式会社 広島支店
工期 至 令和4年1月31日

財産の取得

全会一致

診断用X線一般撮影装置
1201万円 他1件

工事名 豊松支所改修工事
請負金額 8712万円
請負者 株式会社大宝組
工期 至 令和4年2月28日 他4件

全会一致

人事

全会一致

神石高原町教育委員会委員の任命の同意
再任 森 恵美氏

第50回 議会クイズ当選者

豊松地区 森上 智子さん

おめでとうございます！

議会クイズにたくさんのご応募ありがとうございました。皆様からいただいた声を受けとめ、前向きに取り組んでいきます。

クイズの答え

- ① 一般会計決算 145億861万円
- ② ICT 導入で実効性ある鳥獣害対策を
- ③ 油木地区に開館した にしかわ 化石館

まちの声

議会クイズの解答と共に寄せられた
要望・意見・感想など主なものを

● 50回目の議会クイズに応募できて幸せです。

● 毎回、楽しく読ませて頂いています。(70代 男性)

なかなか議会へ行かれない為、議員の方の質問を広報誌で読ませていただいています。
楽な姿勢でゆっくりと紙面を読んでいます。ありがとうございます。

● 立派な新庁舎が完成しました。建物だけでなく機能・防災面などでも町民の誇りとなることを期待します。(40代 女性)

● 進取果敢

(70代 女性)

早速に「まちの声」に5項目出して頂き感謝いたします。
尚、議会の方のリーダーシップで5項目の達成を願います。

● 旧役場の跡地をなにかにする考案がありますか。使い道があれば教えてほしいです。(60代 男性)

(60代 男性)

三和協働支援センター



三和協働支援センターでは、交流で地域の活力を取り戻すため、新年度4月からセンター施設を中心に駐車場や空ガレージを活用し、フリーマーケット(さんわフリマ)を毎月1回、日曜日開催を計画し、準備をすすめています。

自由に交流できる居場所づくり。引きこもり防止と健康寿命の増進。買ひ物の支援と不用品の販売で資源の有効活用など盛りだくさんの効果が期待できます。

さんわ
フリマを計画
中



大好評の制服議渡会



発行責任者 議長 橋本輝久
住所／広島県神石郡神石高原町小島一七〇一

TEL 084718913340
FAX 084718514201

第51回 議会クイズ GIKAI QUIZ

空欄に適切な言葉をいれてください

- ① ○○○○○ 発電所
- ② ○○○ 食堂
- ③ 3回目の○○○○ 接種

ヒント 議会広報をよく読んでね!

●応募方法

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。(メールFAX可)
正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。
応募は、1人・1通に限らせていただきます。

●あて先 〒720-1522 広島県神石郡神石高原町小島1701
神石高原町議会事務局「第51回議会クイズ係宛」

●FAX 85-4201

●メールアドレス jk-gikai@town.jinsekikogen.hiroshima.jp

●締め切り・はがき 令和4年2月10日(木)消印有効
・メール 令和4年2月10日(木)17時締切



●個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および「まちの声」などの目的以外には利用いたしません。

議会広報常任委員会
委員長 小川 善久
副委員長 柏床 由夫
委員 橋本 輝久
委員 寄定 秀幸
委員 林 憲志

この一年、健康第一に考え、無病息災で元気に乗り切る事を願うばかりです。(橋)

編集後記

本年は、トランプ年であります。「寅」という文字には、「まっすぐに伸ばす、引っ張る」という意味もあるそうで、家の中で弓矢を両手でまっすぐに伸ばす様子を表す象形文字からだとそうです。確実に、的に当たるためには、体幹を鍛えるなど強い体の形成に努める事があります。

表紙の紹介



神石へき地診療所を運営する一般社団法人「風鈴(ふうれい)」の皆さん